

日本血管不全学会員 各位

拝啓 新春の候 皆様におかれましては ご清祥のこと お喜び申し上げます

本年 4 月開催 第 10 回 日本血管不全学会学術集会・総会におきまして
脈波低値の用語と運用のご再考を願い、学会員の皆様にお手紙を致します

齢不相応に低値の 50 代例は「若々しく、健康、正常」と安心して大動脈解離
20 代例は「計測不能な低値」に受診案内もなく、後に動脈解離を緊急手術で
救命されました。現実として、**低値から疾患を知り、助かる命があるのです**

低値が看過されますのは、検査案内や結果票に、**貴学会ガイドラインと指針**
に記される知見：低値の原因 4 症状（低血圧、心機能低下、血管蛇行、脊柱
側弯）と、低値時の受診案内が、明示されていない為と拝察します

2019 年より、一部の学会員様に陳情しましたが、ご専門等を理由に断られ、
やむなく、オムロン社とフクダ電子社に「現状の表記は、不当景品類 及び
不当表示防止法に、抵触するのではないか」旨、弁護士を介して申入れました
学会の監修があれば、見直す 意向を示されました

現在、聖路加国際病院、慶應義塾大学病院、順天堂医院で低値運用が始まり
学会員の複数名様より前向きなご意向を賜り、**低値も含む血管不全の学会**として、
皆様に医師としての良心を問い、早々のご対応をお願い申し上げます

恐れ入りますが、文書でのご回答を希望します

どうぞ 宜しくお願ひ申し上げます

敬 具

- ・添付資料：脈波低値から 血管脆弱リスクの診断へ
- ・詳細は会 HP (<https://loeysdietz.jp/>)をご参照願います

2025 年 1 月 20 日

ロイス・ディーツ症候群の会 代表 坂 本 智 子 押印
(住所連絡先)

高野・五百田 法律事務所 弁護士 高 野 康 彦 押印
(住所連絡先)

注記：HP では住所連絡先・押印を伏せさせて頂きます